

令和 4 年度第 1 回環境エネルギー協議会〔兼農山漁村再エネ法に関する協議会〕 会議録

- 開催日時 令和 4 年 10 月 4 日(火) 10:00～11:30
- 開催場所 庄内町役場本庁舎 B 棟 2 階会議室 2
- 出席者 会長 武田啓之
副会長 加藤武好
委員 佐藤繁、高橋満、押切光久、佐藤清、齋藤徹、田澤縁、早坂恵美子
事務局 齋藤登、齋藤稔、佐藤貢、本田勝彦、本多楓

任命書の交付

1 開 会 (10:00)

2 町長あいさつ

3 会長副会長の選出

会長：武田啓之、副会長：加藤武好、選任。

4 会長あいさつ

5 諮 問

6 協 議

(1) 環境エネルギー協議会条例第 2 条に関する事項について

・令和 3 年度事業結果について (資料 1、2)

【事務局】資料に基づき説明。

【会 長】ご質問、ご意見等ありませんか。

【委員 1】一点目、風車の「設備利用率」「設備稼働率」「運転可能率」とはどういったものか。二点目、北月山荘の太陽光発電の発電量が年々減少している要因は何か。三点目、古紙回収は、自治会でも可能ということだが、回収場所を新たに確保する際、今ある補助金で対応していただけるか。四点目、昨年環境の条例の制定について検討するということだが、山形県の状況、また本町の検討状況について説明いただきたい。五点目、リサイクルについて、徳島県の上勝町では 100%のリサイクルを目指しており、今現在は 80%くらいのリサイクルを達成しているようだ。最終的には、自治体の中でリサイクルできないものが出てきたため、ほぼ 100%リサイクルになっているというようで、注目されている。それに比べると本町のリサイクル率は微々たるものだと思うが、上勝町に視察へ行く等、もっと取組の仕方があると思う。

【事務局】設備利用率に関しては、どれくらい発電効率がいかと理解していただきたい。新しい風車は高い利用率になるが、町の風車は通常約 20%で計算している。設備稼働率に関しては、風車が稼働した率であるが、稼働したからといって全てが発電に繋がる訳ではない。運転可能率は、メンテナンスや故障の期間を除き、運転が可能であった率である。次に北月山荘の太陽光発電だが、通常地上に設置することが多い

が、北月山荘の方は積雪も多いため、壁面に設置している。雪からの反射も発電に繋がるが、やはり経年劣化や汚れの付着等、天候等の条件もあり、そのあたりも要因となっている。

【事務局】 自治会のごみ置き場としての補助金の件だが、担当の方に確認したところ、活用できるということである。二点目の環境の条例に関しては、もう少し説明をいただきたい。三点目のリサイクル率の件は、庄内町は 15%ということで目標にも遠い数字でもう少し上げていきたい。庄内町のごみ処理の大部分を酒田地区広域行政組合で処理しているため、連携してリサイクル率の向上を進めていくことになる。昨年度プラスチックに関して法改正もあり、今後はプラスチックも分別する方向で進めていくことになる。あとは町独自で取り組む必要もあるが、今現在そういった考えがない状況であるため、皆さんから意見等いただきながら検討していきたい。

【委員 1】 条例については、規制と進行の両方を組み合わせた条例の制定が必要ではないか。昨今議会の一般質問の中で、清川地区は特に高齢者が多いため、風車による健康被害が取り上げられており、低周波によって夜眠れないといった意見が出されているようだ。風車を設置する際の場所を町として規制する必要があるのではないかと。住宅地からどれくらい離すだとか、設置するエリアを指定する等です。太陽光に関しても同じで、先程約 20 年の寿命とあったが、その後の撤去はどうするのか、また途中で災害等に遭った際どうするのか、環境汚染に繋がるのではないかとという問題が全国各地で起きている。それを規制するために、町として環境条例を制定しないと、今のところ規制するものがない。規則以下では規制は不可能だ。今遊佐沖の発電設備設置に関しても、地元との対立した意見が出ているようだが、大きな視点から見て町として環境条例を制定するべきだと思う。以前の回答は、「今山形県が制定を検討中なので、それを見て町としても検討していく」という回答でした。

【事務局】 発電施設の整備促進については、県の方で今年 4 月 1 日から施行している条例があり、新たに発電設備を設置する際は、県条例で定められているため、住民説明会も実施する等合意形成を図ってからではないと出来ないという状況である。ただ再生可能エネルギーについては、小規模の風力発電 1 基のみの運営では厳しく、他に整備していかなければならない状況。しかし、町独自の条例制定については考えていない。県条例に倣って、県と協議をしながら、住民の方々が納得できるような整備計画をたてていきたい。清川地区については、現在稼働している状況にあるので、今後は住民の方々との話し合いを行い、納得できるように進めていかなければならないと思う。

【会 長】 他にありますか。

【委員 2】 ごみの排出量ということで 13 項目だが、リサイクルでは 11 項目で水銀と埋立ごみがなかった。水銀については、危険なものであるため専門の業者から引き取ってもらっていると思ったが、水銀と埋立ごみについては、どんな処理がされているのかと思う。それから、風車の稼働率、可能率等といった数値は、私たちが見せられても、今説明を聞いてもよく分からない。これを町民に見せるかどうかは分からないが、もし見せるとしたら説明を書くべきである。また太陽光パネルの経年劣化と話が合ったが、全てのものがそうであり、ずっとあるからと言ってメンテナンスをしなくて良いということではないと思う。相変わらず国は原子力の発電を進めようとしているが、その費用対効果をどのように見ていくのかと。劣化したもの、被害を受けたものをどう処理して費用はどうするのか、町民が納得できることを提示する必要があると思う。また、風車がなくなってからどうするかということだが、私たちは知識がないので難しい。風車を建てるときに羽が 30m だということ、羽も掃除

が必要だということは日立ソリューションの人から聞いたので、とても大掛かりなものだと存じ上げているが、費用についてもきちんと教えてもらわないと、評価する軸が何かよく分からない。評価する学者、しない学者の話の両方聞いて判断するとか、そういった資料を提示していただかないと意見の言いようがないと思う。

【事務局】 風力発電については、平成 25 年度から令和 3 年度まで固定価格買取制度ということで売電していた。その売電価格から修理費等を差し引いて、昨年未まで 2 億千億円程基金として積み立てている。その額の半分程を撤去費用に、あと半分は町民へ還元できるのかなと考えている。今後新たな再生可能エネルギーを検討していかなければならないが、再エネ賦課金ということで各家庭から負担いただかなければいけない部分もある。その制度についても皆さんにもお伝えしていかなければならないと思っている。

【事務局】 (補足) 先ほど原子力とのお話もあったが、再エネ賦課金が当初始まった時は、1kWh あたり 0.1 円ということでスタートしたが、今は 3.46 円になっている。来年は更に上がり、再生可能エネルギーを進めるのはお金がかかる。その費用負担を国民が行うということで、太陽光がこれまで進んできた。皆さん電氣量が上がっているなど感じている中に、明細を確認すると、燃料調整費、再エネ賦課金も入っているが、それと原子力は関係していない。事務局としては、今後も再生可能エネルギーを推進していくという立場でいる。

【事務局】 ごみの 13 項目、11 項目の違いですが、埋立ごみと水銀がリサイクルの方に回っていませんが、埋立ごみはそのまま最終処分場で埋立されるということが基本で、リサイクルされるものはないということになる。しかし実際、広域行政組合の職員が埋立ごみとして出されたものの一部は一旦展開し、資源物は分別している。水銀についても同じように、専門の処理業者があり、専門の処理ルートにのせて処理しているため、リサイクルには回らないということになっている。実際ペットボトルのリサイクルに回る量が減っているが、広域行政組合では、資源物や燃やすごみとして出された分からも展開してペットボトルへ回っているものもある。資源として出されたものが 100%資源に回すことができれば、手間がかからず一番良いが、ペットボトルが汚れていたり、ラベルがついたままだったり、瓶の蓋がついたままであったりすると分別の必要が出てくる。そういったところが反映されたものが 7 ページ目の表になる。今の関係については今回のチラシにも載せているが、ペットボトルのキャップ、ラベルを外し、中をすすいでいただくということで、綺麗にならないとリサイクルができなく、集まってもまたより分けられ、はじかれるということになる。瓶も蓋がついているとその瓶はリサイクルできないため、それも手作業ではじいたり、外したりしている。またその量が多いと受け入れしないということもあり、広域行政組合からも強く言われているため、チラシに載せたところである。

【会 長】 その他ご質問等、事業者さんの方からご意見等ありませんか。

【委員 3】 廃棄物処理業務担当の委員 3 と申します。レジ袋は 1 枚 3 円や 5 円等の費用が発生するため、車にエコバックは常につけている。このように、少額でもお金を取られるということは、やはりもったいないという思いが出てくる。ごみ袋に関しては、酒田地区広域行政組合では、袋代のみで処理代は入っておらず、処理費は各市町村が負担金という形で集め、広域行政組合の運営をしている。そのため、仮定になるが、ごみ袋代が 10 円、処理代が 20 円、合わせて 1 袋 30 円で販売をすることで、ごみの量が減る。そうすると各市町村の負担金が少なくなり、税金も少なくなることに繋がるかもしれない。また、ごみ減量に向けては各メーカー等でもできるだけごみを出さないように作られていると思う。今はペットボトルに関してはリサイクル

のルート等は特にないが、テレビ、洗濯機、冷蔵庫等は国が定めたルートに乗って3千円だとかの費用を払ってリサイクルされている。そのように意識をするようになると思うので、レジ袋に関しては国の施策として非常に良いものだと思っている。ごみというものにお金がかかってくるというのは、非常に分別に対する意識改革、ごみの減量ができるのではないかと思う。

【委員 4】 再エネ事業者ということでお話すると、先程清川地区での風車の騒音についてお話がありましたが、うちの方の対応状況について情報共有させていただく。昨年冬から運転が開始され、開始直後住民の皆さんから音がするというので苦情を受け、すぐ騒音の調査を実施した。現時点で分かっていることは、冬場の北西の風の際に音がするということが分かっている。今年も11月頃から騒音測定をしながら、住民の皆さんからどういう音がするか等という意見を聞いていこうと思っている。今のところは、「最初は音が気になったが、最近はそうでもない」といった意見も聞かれている。法律上の規定範囲内の数値だから大丈夫だろうというような仕切り方をせず、住民の皆さんと話をしながら対応を進めていけたらと思っている。先ほどの資料にある太陽光のお話だが、発電量が5千kWhから3千kWhというように下がっている。一般的には10年で10%くらい減少するので、これだと減少しすぎかなと感じている。他の事例では、電気の線が抜けていたということもあったので、業者の方から確認していただくこともいいと思う。せっかく設置されているので、能力が発揮されていないのはもったいないと思う。

【委員 1】 ごみ袋の有料化に関して昨年からの話がでているが、私は個人的に低所得世帯にとっては比率が高まると思う。高収入世帯にとっては微々たるものではあると思うが、所得によって出すごみの量が変わることはあまりないと思う。エンゲル係数の非常に高い世帯、低所得世帯、母子家庭世帯等については負担が大きくなるのではないかと思う。ですから、一律にやると分別は進むと思うが、お金の面からみると負担が大きくなるのはどうかと思う。

【委員 3】 低所得者の方に対しては、市町村によってどのような対策をされているのかまでは調べていないため、今後調べていきたいと思う。また、生活保護世帯からはいただいていないところもあるようだ。

(2) その他

【会 長】 せっかく委員の皆さんにお集りいただいたので、一人ずつお話をいただきたいと思っています。

【委員 5】 今年度からこの会議に参加させていただくことになりました、自治会長会の委員5と申します。よろしくお願ひします。今日はまず、環境エネルギーということでどういった内容の会議なのか、様子を見させていただこうと思った。難しい内容であり、受け止めるのも難しかったが、皆さんの考え方等もわかってきた。私としては、環境についてこれまで細かく神経を使って考えたことはなかったが、今日この会の皆さんの話を聞いて、やはりもう少し力を注いで考えていかなくてはならないと感じた。ありがとうございました。

【委員 6】 JA庄内たがわの委員6と申します。環境エネルギーについては、JAの立場もそうですし、個人的にも関心があります。今日敢えて質問しませんでした。風車の事業の収支についてですね、最初に全て計画を立ててやられると思うのですが、この風車の場合はたまたま途中で売電価格の変更があり、積立金が2.1億円程あるという話でした。偶然途中で10年間くらいそういう期間があったので貯まったのですよね。それがなかったとすると、1億もないという状態なので、原子力と同じで企画するときには皆熱くなりますが、最後どういう形で着地するかを考えないといけないと

思います。良かれと思ってやったことが、かなり負の遺産になるのだなと感じております。どうか今後も議論を重ねて、どう上手く回してけりをつけるかということ、原子力みたいに逃げずに責任を持ってずっと見ていただけたら有り難いと思います。

【委員 7】 はじめまして。この環境エネルギー協議会は敷居の高いものでありまして、私も場違いかなと思って参加しました。資料も難しかったのですが、滅多に見ることがない資料ですので勉強になりました。ごみの分別のところは、私は全部やっています。自分が行動していることは間違いではなかったなということの確認と、それを家族に教育しました。そういうことを考えると、環境の問題に関して私は関心があるので、私の時代だけではなく環境をこれ以上悪くしないで残したいなという思いがあるので、蟻の一步ですが努力していこうと思います。今日はありがとうございました。

7 その他

【事務局】 今年度、今回が第 1 回となりましたが、年度内にもう一度第 2 回ということで考えている。まだ日程については決まっていないが、年明け 1、2 月あたりに設定したいと思う。その際、先程話があった 12 基の風車から得られる基金の用途について、役場の内部でプロジェクトチームを組んで検討している最中ですので、その結果や方向性についてお示しできるかと思っておりますので、よろしくお願ひしたい。

8 閉会

(1 1 : 3 0)